

美幌町地域包括支援センターだより

ものりらとほろほろ。



『 あっという間の 10 年 』

美幌町地域包括支援センター所長 佐々木 将明

平成 21 年 6 月にほけっと第 1 号を発刊し、10 年が過ぎて、40 号を迎えました。これまでに介護保険や障がい福祉の制度や美幌町内の事業所さんの情報・行事などを紹介してきました。ここまで続けてこられたのも、地域の皆さまにご愛読いただいている賜物と思っています。本当にありがとうございます！

5 月からは平成時代が終わり、新元号に変わりますね。時代は変わっても、地域の皆さまの健康を守り良質なサービスを提供することは変えてはいけないことです。皆さまにセンターを頼ってもらえるよう、初心に戻って実直に仕事をしていきたいと思えます。新しい時代を迎えましても、どうぞよろしくお願い致します。



あさひグループホーム「春のお茶会」



3 月 3 日ひな祭りの日に、あさひグループホームで『春のお茶会』が開かれました。2 名のボランティアの方が、着物に身を包み、素敵なお茶碗も持参して、入所者様の目を喜ばせながら、お点前を披露しました。入所者様からは、「ちょっとにがいね」「着物がきれいだね」と声が聞こえ、楽しそうな雰囲気の中、目も口も楽しめるお茶会になりました。最近の入所者様の介護



度が高くなり、平均要介護度 3.8 となっていますが、少しでもその人らしく、楽しめるようにと、お抹茶にとろみをつけたり、お饅頭をミキサーにかけたりと工夫を凝らしていました。施設内も桃や菜の花が飾られ、一足早い春が訪れていました。



美幌町権利擁護研修会を開催しました



平成 30 年度美幌町権利擁護研修会を 3 月 2 日にしゃきっとプラザで開催しました。

「認知症の人の『私らしく…』を尊重する支援とは」と題して、権利擁護センターぱあとなあ北海道 運営委員 尾崎 仁美氏を講師に招き、講演いただきました。



尾崎氏からは認知症の方の希望と思い、支援者の思いについて、自らが後見人として支援してきた事例を交えながら本人の思いを尊重した支援について話がありました。

認知症であり、自分の意思を決めることが難しい人でも思いはある。しかし先を見通して考える力などが弱くなってきているため、本人自身が選択し決めることが出来るようにゆっくり・丁寧に・繰り返し説明を行い、周りの者が勝手に決めない支援、あくまでも本人の思いを大切にと話がありました。

次に、シンポジウムとして尾崎氏をコーディネーターに、認知症高齢者を支援している町内 4 事業所の方々をパネリストに迎え、普段の取り組みについて事例を通してお話がありました。

パネリストから本人が意思決定をできるように様々な方法で支援を行ってはいるが、意向に沿えない場合や意思を確認できない場合もあるとの意見が出された際、コーディネーターから本人の意向が本人にとって最善の利益とならない場合はどのような支援をするべきかについての提議がなされました。パネリストからは、納得できるまで話し合い、かかわりを持つ必要がある、生命の危機があれば安全の確保を優先し関係者で情報共有を図り方向性を決める、今の生活や残された人生との兼ね合いを考えその人がどうしたいのかを考える等の意見が出ました。コーディネーターからは、認知症高齢者の判断はすべてが正しいわけではなく他者からみて間違っただ判断だと思ふことも、本人の自己決定・幸福追求権を阻害するものではなく、支援者として個人の価値観を応援し尊重することも大切と話がありました。





佐々木



梶

認知症地域支援推進員が

老人クラブにおじゃましました



米地



葛西

認知症に関する講話の依頼を頂き、当センターの認知症地域支援推進員が、2月21日元町ふれあいサロン、22日豊富老人クラブにおじゃましました。

★元町ふれあいサロンでの様子

2月21日に「認知症予防」と題して、参加者40名にお話を聞いて頂きました。始めに認知症の原因や症状の説明をしました。予防に関しては既に皆様が気を付けて行っていることばかり…交流の場を楽しむ、頭を使うこと、運動・食事をバランスよく！です。その後、参加者の皆様と一緒に運動をして、笑いながら、汗をかき楽しい時間を過ごし、皆様から元気パワーをもらいました。



★豊富老人クラブでの様子

初めておじゃましたにも関わらず、参加者の皆さんに温かく迎えていただきました。お話の内容は「認知症の主な症状」「認知症の予防」「認知症の方への接し方」などです。認知症ではないかという気づきは、まず始めに本人自身が感じるようですが、周囲の人もその変化に早く気づくことで早期対応が可能となります。「何か変だと思ったら直接教えてね」「何か変だと思っても何も言わずいつも通り接して欲しい」「いつもここで顔を合わせることは、お互い元気で変わらないか、困ったことはないかを確認できる大事な機会だね」「もっと若い世代の人にも認知症のことを知ってもらいたい」などの話が出ました。

地域包括支援センターでは出前講座を行っています。認知症に関することは認知症地域支援推進員が対応します。ご希望の場合は、地域包括支援センターまでご連絡下さい。

認知症地域支援推進員
が増えました



葛西友菜です。
宜しく申し上げます。



介護保険のサービス事業所を紹介します(その11)

連載中

『アメニティ美幌（入所）』

町内唯一の介護保険対応リハビリ施設です。要介護1から要介護5までの方を対象に、リハビリを目的とした期間限定の入所サービスを提供しています。個別ケア計画に基づき医師、看護師、介護福祉士、支援相談員、理学・作業療法士、介護支援専門員、管理栄養士が専門職のチームとして関わり、看護、医学的管理のもと介護及び機能訓練を行い、自立した生活、自宅生活を続けられるためのお手伝いをしています。

ご利用を希望される方は担当ケアマネジャーへご相談ください。アメニティ美幌でもご相談を受けております。

介護老人保健施設アメニティ美幌 支援相談員 佐藤・後藤まで ☎0152-75-2210



ありがとう
ございました

昨年4月にお知らせしました地域包括支援センターマスコットキャラクター「ものしりら美っとほうほう」の編みぐるみを『深田良子様』が作り、寄贈して下さいました。どうもありがとうございました。

地域包括支援センターの入口に飾っており、「手作り?」「かわいいね!!」と見る人の気持ちを和ませてくれています。大切に飾らせていただきます。



編集後記

ぼけっと第40号はいかがでしたか？

約10年かけて40号までできました。第1号を改めて読み返すと、懐かしいような恥ずかしいような感じです。今後も皆様に楽しんで読んでいただけるよう、50号、100号と作っていきたいと思っています。(た)

美幌町地域包括支援センターだより 『ぼけっと』 第40号

発行：美幌町地域包括支援センター 発行日：平成31年4月1日(月)

住所：〒092-8650 網走郡美幌町字東3条北2丁目1番地

美幌町保健福祉総合センターしゃきっとプラザ2階

電話：0152-75-3220 ファックス：0152-73-4787